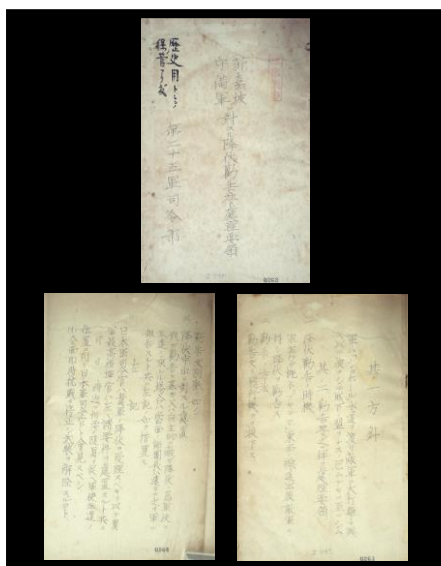


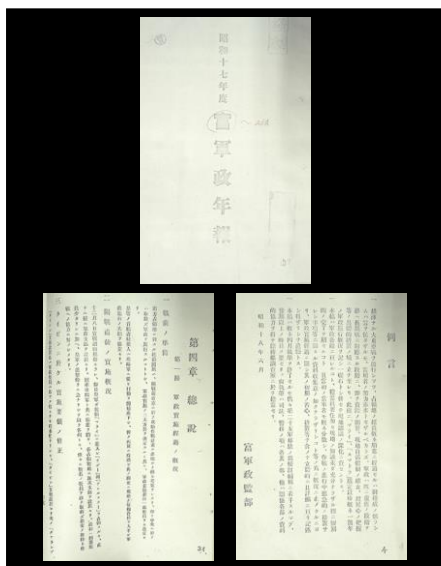
平成29年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎月一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 ^{すずき} ^{そうさく} 鈴木 宗作 1891～1945年 》
—愛知県出身の陸軍大将—



新嘉坡守備軍ニ対スル降伏勧告 (登録番号：南西-マレー-ジャワ-10)

鈴木宗作大将は、明治45年5月、陸軍士官学校(24期)を卒業後、支那派遣軍総参謀副長、参謀本部第3部長などの要職を務めたのち、昭和16年11月第25軍参謀長に就任します。12月8日、マレー半島北端のコタバルに上陸した第25軍(富集団)は英軍陣地を突破し南下、翌17年2月8日にはシンガポール島へ上陸します。日英両軍の激戦が繰り広げられていた15日午後2時頃、英軍軍使ニュービギン少将他2名から停戦の申し入れがあり、第25軍は情報主任参謀杉田一次中佐他2名を派遣、「全面即時抗戦ヲ停止シ武装ヲ解除スルコト」など、英軍が降伏までにとるべき処置事項を伝達します。この史料は、杉田参謀が保管していた「新嘉坡守備軍ニ対スル降伏勧告竝ニ処置要領」で、英軍に対する降伏勧告の方針並びに処置などが記されています。



昭和十七年度 富軍政年報 (登録番号：南西-マレー-ジャワ-325)

昭和17年2月15日、英軍司令官パーシバル中将与第25軍司令官山下奉文中将との間で降伏文書の調印を終えた第25軍は、翌16日、シンガポール(昭南に改称)に軍政本部を置き、占領地全般の軍政に着手します。7月、従来の軍政部を軍政監部に改め、初代軍政監を鈴木参謀長が兼任、総務、管理、警務、司法、産業、財務、交通の各部を統括します。英領時代の連邦州等を廃止、各州に政庁、昭南には特別市制を施行。州長官、市長、上級官吏には日本人を任命しました。この史料は「昭和十七年度 富軍政年報」(全421頁)で、「軍政ハ既ニ復旧ノ段階ヲ終ヘ長期戦ニ対応スル段階ニ、即チ資源ノ開発、現地自活体制ノ確立、竝民心ノ把握等ノ具体的措置ノ域ニ立チ至レリ」などと記されています(他に「第二十五軍軍政概況」登録番号：南西-軍政-42)。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課

専用線：8-6-29171、29175 (史料紹介コーナーのみ29651)

外線：03-3260-3011

FAX：03-3260-3034

※ 防衛研究所ウェブサイト：www.nids.mod.go.jp